

行政サービス度

県庁所在地で

トツプに 全国806市区内 14位に!

行政サービスの上位20	
順位	自治体名
1	三鷹市 (東京都)
2	千代田区 (東京都)
3	清瀬市 (東京都)
4	荒川区 (東京都)
5	北区 (東京都)
6	武蔵野市 (東京都)
7	浦安市 (千葉県)
8	戸田市 (埼玉県)
9	渋谷区 (東京都)
10	台東区 (東京都)
11	加須市 (埼玉県)
12	杉並区 (東京都)
13	府中市 (東京都)
14	前橋市 (群馬県)
15	足立区 (東京都)
16	朝霞市 (埼玉県)
17	板橋区 (東京都)
18	秦野市 (神奈川県)
19	枚方市 (大阪府)
20	豊明市 (愛知県)

昨年12月1日付け日本経済新聞から

暮らし優先の施策が高い評価

第6回行政サービス調査 (行政サービス度)概要

本調査は隔年で、東京23区を含む全国806市区を対象に実施。①子育て環境 ②高齢者福祉 ③教育 ④公共料金等 ⑤住宅・インフラの5分野における調査によって評価されたものです。



安全な水を送るために (敷島浄水場)

また、水道料金と下水道使用料は現行料金を据え置くことを決めており、市民負担の増加を抑制します。

公共料金等

身近な公共料金である水道料金は平成11年度に、下水道使用料は同14年度に、それぞれ改定して以来、健全財政を維持し料金を据え置いてきたことが高い評価を得ました。

さらに、本市独自の教育施策として「けやきの育み」を推進し、子どもたちの基礎学力や基本的な生活習慣の定着などで、着実に成果をあげてきています。

また、妊婦健診の助成回数を2回から6回に増やすとともに、一般不妊治療費の助成を1回5万円を限度に通算2回行っています。保育については、延長保育、休日保育、病児・病後児保育や公立保育所の待機児童ゼロ、第3子以降の保育料の無料化などが評価を得ました。



中学生も医療費が無料

県内12市の最初にスタートした中学校卒業まで拡大した医療費の無料化が高い評価を得ました。この事業では、所得制限や一部負担を設けず、子育て支援の充実と市民負担の軽減を図っています。

子育て環境

市長メッセージ

本市が全国トップクラスの評価をいただき、大変光栄に思っております。これは、市民の市政に対するご理解とご協力のたまものであり、結果として、前橋市民の市民力や地域力の高さを表すものであります。

今、100年に一度の経済危機といわれる中、厳しい財政状況ではありますが、私は、引き続き、市民の暮らし優先の施策を積極的に推進していきます。

さらに、全国平均よりも約220時間も長く、全国県庁所在地第4位の日照時間を誇り太陽光発電に適した本市は太陽光発電システム設置補助事業を実施。また、地震に強いまちづくりを推進するために、耐震診断及び耐震改修に

住宅・インフラ

ごみ処理経費の無料化を堅持していることが評価を得ました。有価物集団回収など市民力によるごみ減量・資源化の取り組みも推進し、ごみ減量を進めごみ処理経費の削減を図っています。



乳幼児から本に親しめるこども図書館

対する支援も実施しています。図書館サービスとしては、市立図書館と11カ所の公民館図書室を家庭から3きり以内で設置。身近な図書館として便利です。また、自宅からホームページで図書の検索と利用予約もできます。さらに、前橋プラザ元気21内にある前橋こども図書館はこども図書館としては国内最大級の規模。8万7,000点を超える豊富な児童書などを提供しています。

また、人口10万人当たりの医師数は全国平均217・5人を大きく上回り、本市は432・8人。2次医療としての総合病院が集積し、1次医療の「かかりつけ医」との病診連携が十分図られています。さらに、夜間急病診療所には小児科と内科を設け、毎日午後8時から午前0時まで診療しています。その後は15の医療機関の協力を得て急病患者者に対応し、24時間

また、人口10万人当たりの医師数は全国平均217・5人を大きく上回り、本市は432・8人。2次医療としての総合病院が集積し、1次医療の「かかりつけ医」との病診連携が十分図られています。さらに、夜間急病診療所には小児科と内科を設け、毎日午後8時から午前0時まで診療しています。その後は15の医療機関の協力を得て急病患者者に対応し、24時間

高齢者福祉

ボランティアによる高齢者への給食サービスの実施など、住み慣れた地域で安心して暮らせる施策が評価を得ました。

3月末までには、特別養護老人ホーム150床が開設する予定。さらに介護施設の充実が図られます。

お母さんが安心して働ける環境作りを進めています。

子どもの安全・安心対策としては、市民・地域の協力で、1、673カ所の「こども安全協力の家」を設置。小中学校への防犯カメラ設置やすべての児童に防犯ブザーの配布、不審者情報の携帯電話への配信(おれんじめーる)などを実施しています。

また、市内の学校すべてに教師用・児童生徒用のパソコンを配置。全国でも最先端の整備が進んでいます。



2人の先生がきめ細やかな指導

一人一人の子どもたちの基礎的な学力の定着を目指し、すべての小学校に国語等教科支援講師を配置。障害のある子どもたちの学習活動(特別支援教育)やいじめや不登校に悩む児童生徒を支援するための学校支援員を大幅に増員したことが評価を得ました。

救急医療体制の整備が図られています。